

# 太宰府の文化財

444

## 特別史跡水城跡

### ―土塁断面ひろばと中央土塁―

国指定の特別史跡水城跡は、山と山との平野を塞ぐように全長1.2 km、高さ10 mの土塁と、土塁の両側に外濠60 m、内濠50 mを構築した巨大な土木構造物です。今回は福岡県教育委員会により史跡整備された土塁断面ひろば（以下、断面ひろば）と、その背後に位置する中央土塁について

紹介します。断面ひろばはJR水城駅東側の道路沿いにあります。断面ひろばの史跡整備は、平成25年〜平成29年度の5カ年にわたりました。整備に先立ち、水城跡土塁断面の調査を行い、その調査成果をもとに史跡整備をすすめられました。整備方針としては、まず土塁そのもの

の保存を第一とし、その上で土塁の構造と築造技術を市民へ伝えることを目的としています。発掘調査で露出した土塁の断面を新たに1〜1.5 mの盛土で覆い、保全されています。盛土で隠れてしまった土塁断面の情報を伝えるために、立体陶板（高さ2・6 m、幅1・8 m）を現地に設置し、実際の土塁断面の土層の色合いや表面の手触りを表現しています。断面ひろばの背後には中央土塁と呼ばれている水城跡の土塁が続いています。近年、低木などが茂って土塁の高まりが見えづらく、また樹木が

成長しすぎて土塁や散策する人にとって危険な状態が続いていました。そこで、令和3年度太宰府関連史跡整備事業として中央土塁の樹木整理工事を行いました（ただし民間所有地を除く）。この工事では史跡としての本質的価値である土塁を守るため、クスノキ等の巨木・高木を中心に伐採・剪定を行い、併せて木々が密集して暗い森となっていた木々の密度を下げ、土塁頂部のラインを見えやすくするなど、森の中を明るくし、見通し易いように工夫しました。また前述の断面ひろばが土塁の高まりと一体的に見えるように、断面ひろば周辺の樹木を整理しました。

水城跡は都市圏の貴重な緑地帯でもあります。緑地を維持しつつ史跡を保全し、市民の皆さんに親しんでもらえるような水城跡を目指したいと思います。



土塁断面ひろば



水城跡中央土塁



位置図

文化財課 高橋学

編集／太宰府市総務部経営企画課：〒818-0198  
☎092(921)2121 FAX(921)1601

太宰府市観世音寺一丁目1番1号  
✉ keiei-kikaku@city.dazaifu.lg.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

太宰府市公式SNSの  
フォローをお願いします！

